

# 標準字体私見

——台湾省の「常用国字標準字体表」について——

中 田 正 心

- 〈目次〉 はじめに
- 一 標準字体
    - 1 標準字の基本原則
    - 2 正字体選定概要
  - 二 書写上の問題点
- おわりに

## はじめに

台湾省教育部は1972年、国民常用字の研訂ならびに、標準字体の訂定を行なうことを決した。そこで翌年、この原案作成を、国立台湾師範大学国文研究所に委嘱することにした。

これを受けた師大國文研究所は、2年8ヶ月の歳月を要して、4,708字を選定した。教育部は「国民常用字表初稿」と題して、1975年9月、12月の二度にわたり計4,000部を印行、内外の各界に広く配布して意見を求めた。1976年7月までに各方面から、112件の意見を共収することが出来た。再び師大國文研究所は修訂の作業に入り、前後4年を費し、1978年5月「常用国字標準字体表（訂正本）」として報告された。修正されての字数は100字増加されて、4,808字を見るに至った。

これより先、国立編訳館が4年をかけて、1967年に「国民学校常用字彙研究」を公にしている。この資料には、4,864単字が収められていて、偶然とはいえあまりにも近似な字数である。これは、現在の社会においては、国民の日常使用字数が3,000字から3,500字として、<sup>(1)</sup> それに加えるところ5,000字前後であれ

ば、万全であることを物語るものであると判断してよからう。

ただ残念であったのは、「初稿」の4,708字を保てなかったことである。文字に深い関心を持つ人人は、大方、ある限られた専門家であってみれば、述べるどころ、縮小減少の方向とは逆に増加することは必至である。また、それだけではなく、横書きの書式を右からにするか、左からにするかを、未だ決しえない社会の文字問題である。加えて、政治的に感情的に古きに拘泥することが、寸分なりとも存するならば、現代社会に即した文字政策については、それは、中国社会が今日まで歩んで来たと同様の長い道程を、覚悟しなければならないと懸念する。

そこで、この度の教育部報告の中で、特に標準字体に視点を当てて、現代社会に充分機能する文字訂定であるか否かを、検討してみることにする。

## 一 標準字体

漢字はその起源から今日まで、表語文字の性格を貫いて、三千数百年の悠久なる歩みの途上にある。その間に甲骨文から現行の楷書まで、数数の字体変遷を重ねている。それ故に、現在の正書体である楷書からは、その文字の成因生成を判断することは、ほとんど不可能である。秦の始皇帝によって文字統一が行なわれ、小篆が公用文字になったのも束の間、漢が起こるに及んで、隸書がそれにとって変わる事となった。隸書を経て、隋の時に楷書の整理が進んだ。唐に至って太宗のもと、欧陽詢・虞世南等によって楷書の完成をみた。

宋代に印刷技術が発達して、この楷書が活字体に採られたことが、今日までの楷書の時代を維持する要因となった。文字文化社会の歩みは、印刷技術生産の段階に入って、その文字の本質が大きく変貌を余儀なくされた点を、真に認識しなければならない。外形的な面を言うならば、好むと好まざるとに拘らず、ある限られた方形に一字一字を成していかなければならない宿命にあった。勿論、活字のみを考えると、甲骨文でも金文でも可能ではある。がしかし、印刷という点を考慮する時に、多くの読者に対応する文字でなければならなかった。いうならば、大衆性のある楷書という実用書体こそ、その役割を果す書体であっ

た。

ここで問題になるのは、異体字の存在である。このような現象は、遠く春秋戦国の時代にさかのぼる。そこに秦の始皇帝による、文字の統一を必要としたのであった。楷書においてもその事情は同様であって、ここに“標準字体”を今日施けなければならない所以がある。「常用国字標準字体表（訂正本）」の標準字体は、国民的実用字体として、書体の歴史上に立脚した、簡略省画性を具備したものであることを、確認してみたいと思う。

## 1 標準字体の基本原則

「常用国字標準字体表（訂正本）」の研訂報告の標準字体の研訂をみると、次の通りである。

### (イ) 正字と俗字の区別

(1)古今之分。

(2)合於造字原則與否。

(3)本字之外，其通仮・省筆・繁体・訛変之字，皆為俗体。

の三項目をあげている。俗字とは、簡筆にして使用している間に広く通用するようになった字をいう。即ち、文字の原義的のないものをいっている。(1)に該当するものに、「日ク」の「日」を「日」とした場合。(2)にあてはまるものとして、「吞」とすべきところを「呑」とした場合。また「刊」とし「刊」としない。(3)本字は「岡」であるが「崗」とした場合。

### (ロ) 標準字体基準

(1)字有多体，正体繁而不行，俗体簡而通行，則從俗而不從正。

(2)字有正俗兩体：

(A)俗字通行而画省者，則從俗。

(B)俗字通行而画不省者，亦從俗。

(3)字有兩体，無正俗之分：

(A)從省不從繁。

(B)從通行而画省者。

(4)字有古，籀，篆多体，以通行者（即楷体）為準，古，籀，篆均通行，則從字

画之簡省者.

(5)字有兩体，其義古通而今異者，從分不從合。

以上の項目から明らかなのは、簡体につとめ、俗字・通行字体を使用しようという趣旨である。

## 2 正字体選定概要

それでは次に、同意同義の文字である異体字に目を転じてみよう。

(一) 異体字で正体を選取される原則

(1)衆体の中・最も通行しているものを正体としたもの。

「慷」——「忼」を採らず

「鞭」——「食」を採らず

「鞋」——「鞣」を採らず

これらは、当然ながら六書に合致した文字を採用している。

(2)正俗両体が皆通行しているもので、六書に基づいて採用したもの。

「祕」は初めの本義によって、「秘」は採らず。

「耽」も初めの本義によって、「耽」は採らず。

「堤」は篆書によって、「隄」を採らず。

(3)正俗の区別がなく、数体全て六書の変化にあったものは、次のようになっている。

(A)筆画が最も簡潔なもの

「世」をとり「洩」をとらず

「靴」をとり「鞞」をとらず

「岡」をとり「崗」をとらず

「為」をとり「爲」をとらず

(B)最も広く用いられているもの

「炮」をとり「砲」をとらず

「升」をとり「昇」「陞」をとらず

「疏」をとり「疎」をとらず

(4)多種の字体の意義が、古くは通じ今は異なるものは、それぞれ区別する。

「翊」と「翌」 「間」と「閒」

「景」と「影」 「玫」と「玫」

などをあげることができる。「跡」字には、他に「迹」「蹟」等がある。異体字発生の原因として、文字使用地域の広さをあげられよう。前述した様に、統一国家形態がなされない時期にみられた。またもう一つの原因は、時間的な推移によって生ずる場合である。楷書の時代になってからでは、三国時代・北方の魏の石刻文字と、江南地方の貴族の文字による対立である。これらは、全て書写という方法による文字作成に起因する。いわゆる、範字体のない時代であった。5世紀末試験制度が進んだが、政治の不安から定まらず、唐代を待つほかはなかったのである。唐も中期に顔元孫が著わした『干禄字書』によって、異体字は1,600前後が収集されている。この多き異体字は、今日的解釈をもって、標準字体の一員に加えられたものも、少なくない。今ここに、正字標準字体に採用されたものを表にしてみると、次のようになる。



俗字は省略画によるもの、音に通じて簡体をあてるもの、同形に近いものをあてるものなどがある。この表にあげてあるものを見ると、以上のような過程によるものであり、書写という面から、俗字となるものも少なくない。これらを分類すると、次のようになる。

(イ) 部分的に省画になっているもの

「乱」は歐陽詢の行書にみえ、「𪛗」が「舌」となり、「辞」という簡体にもなる。「廈」は、初めての点画を省略してしまうことで、楷書、行書にある。「攜」は隸書になると「携」と変化する。「冲」は本来「沖」を偏とするが、行書になると「冫」に省画されてしまう。同様に「況」も本来「冫」であるところを、隸書から「冫」になっている。

(ロ) 旁が改変されたもの

この類のものは、多く音に通じているところから、同音の簡体をあてている。

墳—坟 擔—担 灑—洒 燈—灯 膽—胆 雙—双 鐵—鉄 體—体 繡—綉 鏞—鏞 綉—锈は行書、草書に見出せる。

(ハ) 部分的に改変したもの

これに属するものは、書写の点からは自然な運筆になるものが多い。「抛」の字は「九」とした方が、容易に筆を運べる。「濫」の「囚」は「日」と、横画を下に向う方が自然である。用筆法から隸書以降に、多くみられる。「款」字の「欸」は、小篆にもあるが楷書に多くを見る。「汙」は隸書に現われ、行書になると多くなる。同じく行書に多く見出せるのが、「漱」であり、「考」である。

こうしてみると、隸書から後のものがほとんどである。また、同音によって極端に省略してしまい、文字の起源を失ったものは、ここで避けているといつてよいようである。





以上のように、二十三字が本字を捨てて、俗字を採用することとなった。総じて、筆写的にも容易な方向にあることは、一目瞭然である。表で俗字と言われて、標準字体となったものの源泉を字体別に見てみると、次の通りである。

○篆書—出・堤・従・成・榆・澄

○隸書—刑・坑・告・孽・嗑・尉・拖・村・澗・為・者・脆・麵

○楷書—真

○行書—吳・棕

○借字—婿

篆書中に入れたもの全てが、隸書になると、標準字体としたものを見出すことができる。「吳」字は、隸・楷書になく、文徵明の行書に求められる。「棕」字は同じく行書で、董其昌に見られるし、「真」字になると楷書各造像記に有る。表で“今従俗”という“俗”は、おおよそ、隸書に依るものであることが、明らかとなった。

以上は、本字・俗字を問題としたものであった。そこで、表の説明欄が空白の文字について、できるだけ本字を明示することにする。また、参考までに、別体字、俗字も付記してみた。

0659	嗅	口	10	13										0659	亡	人	7	1	3				明	
0558	和	口	5	8										0511	吃	口	3	6				訛		
0495	史	口	2	5										0479	叟	又	8	10						
0468	去	厶	3	5										0463	原	厂	8	10						
0450	卯	卩	3	5										0438	卉	十	3	5						
0435	卅	十	2	4										0410	匆	勹	3	5						
0340	剀	刀	5	7										0350	刮	刀	6	8						
0304	冗	冂	2	4										0278	兕	儿	6	8						
0221	備	人	10	12										0152	便	人	7	9						
0152	便	人	7	9										0766	拆	土	5	8						
0763	弼	弓	9	12										0774	埋	土	7	10						
1263	弼	弓	9	12										0840	夢	夕	11	14						
1199	幹	干	10	13										0863	奈	大	5	8						
1123	島	山	7	10										0865	奔	大	5	8						
1019	宜	宀	5	8										0826	妖	女	4	7						
0963	媼	女	11	14										0946	媯	女	8	11						
0964	媵	女	10	13										0950	媵	女	8	11						
0793	堰	土	9	12										0958	媵	女	10	13						
0774	埋	土	7	10										0964	媵	女	10	13						
0766	拆	土	5	8										1019	宜	宀	5	8						
0763	弼	弓	9	12										1123	島	山	7	10						
0749	垠	土	6	9										1196	年	干	3	6						
0721	冨	冨	10	12										1197	并	干	3	6						
0709	隄	土	9	12										1199	幹	干	10	13						
0683	奈	大	5	8										1019	宜	宀	5	8						
0665	奔	大	5	8										1196	年	干	3	6						
0659	亡	人	7	9										1199	幹	干	10	13						
0640	兕	儿	6	8										1123	島	山	7	10						
0635	剀	刀	5	7										1019	宜	宀	5	8						
0630	冗	冂	2	4										0963	媼	女	11	14						
0621	冨	冨	10	12										0964	媵	女	10	13						
0615	冨	冨	10	12										0950	媵	女	8	11						
0609	冨	冨	10	12										0958	媵	女	10	13						
0603	冨	冨	10	12										0946	媯	女	8	11						
0597	冨	冨	10	12										0938	卉	十	3	5						
0591	冨	冨	10	12										0935	卅	十	2	4						
0585	冨	冨	10	12										0926	妖	女	4	7						
0579	冨	冨	10	12										0910	刂	刀	5	7						
0573	冨	冨	10	12										0903	冂	冂	2	4						
0567	冨	冨	10	12										0897	冂	冂	2	4						
0561	冨	冨	10	12										0890	冂	冂	2	4						
0555	冨	冨	10	12										0883	冂	冂	2	4						
0549	冨	冨	10	12										0876	冂	冂	2	4						
0543	冨	冨	10	12										0869	冂	冂	2	4						
0537	冨	冨	10	12										0862	冂	冂	2	4						
0531	冨	冨	10	12										0855	冂	冂	2	4						
0525	冨	冨	10	12										0848	冂	冂	2	4						
0519	冨	冨	10	12										0841	冂	冂	2	4						
0513	冨	冨	10	12										0834	冂	冂	2	4						
0507	冨	冨	10	12										0827	冂	冂	2	4						
0501	冨	冨	10	12										0820	冂	冂	2	4						
0495	冨	冨	10	12										0813	冂	冂	2	4						
0489	冨	冨	10	12										0806	冂	冂	2	4						
0483	冨	冨	10	12										0799	冂	冂	2	4						
0477	冨	冨	10	12										0792	冂	冂	2	4						
0471	冨	冨	10	12										0785	冂	冂	2	4						
0465	冨	冨	10	12										0778	冂	冂	2	4						
0459	冨	冨	10	12										0771	冂	冂	2	4						
0453	冨	冨	10	12										0764	冂	冂	2	4						
0447	冨	冨	10	12										0757	冂	冂	2	4						
0441	冨	冨	10	12										0750	冂	冂	2	4						
0435	冨	冨	10	12										0743	冂	冂	2	4						
0429	冨	冨	10	12										0736	冂	冂	2	4						
0423	冨	冨	10	12										0729	冂	冂	2	4						
0417	冨	冨	10	12										0722	冂	冂	2	4						
0411	冨	冨	10	12										0715	冂	冂	2	4						
0405	冨	冨	10	12										0708	冂	冂	2	4						
0399	冨	冨	10	12										0701	冂	冂	2	4						
0393	冨	冨	10	12										0694	冂	冂	2	4						
0387	冨	冨	10	12										0687	冂	冂	2	4						
0381	冨	冨	10	12										0680	冂	冂	2	4						
0375	冨	冨	10	12										0673	冂	冂	2	4						
0369	冨	冨	10	12										0666	冂	冂	2	4						
0363	冨	冨	10	12										0659	冂	冂	2	4						
0357	冨	冨	10	12										0652	冂	冂	2	4						
0351	冨	冨	10	12										0645	冂	冂	2	4						



2330	潮	水	12 15		說
2320	漕	水	11 14		明
2304	滾	水	11 14		
2297	溜	水	10 13		
2284	溯	水	10 13	湍 <small>近裂迴響</small>	
2243	涵	水	8 11		
2208	浸	水	7 10		
2150	沃	水	4 7		
2107	毗	比	5 9	毗 <small>標準字字体日 体字思别体</small>	
2096	殼	貝	8 12		
2023	樽	木	12 16		
2003	榴	木	10 14		
1992	槪	木	9 13		
1971	棋	木	8 12		
1954	梨	木	7 11		
1913	查	木	5 9		
1912	柳	木	5 9		
1903	柩	木	5 9		
894	柿	木	5 9	梯 <small>列字</small>	
字號					
2775	眼	目	6 11		
2746	盃	皿	5 8		
2741	盃	皿	3 8		
2728	的	白	3 8		
2705	瘦	疒	10 15		
2659	疆	田	14 19		
2657	畢	田	6 11		
2649	留	田	5 10		
2648	畚	田	5 10		
2646	畝	田	5 10		
2571	琉	玉	6 10		
2539	猿	犬	10 13		
2526	狸	犬	7 10		
2468	爛	火	17 21		
2436	熙	火	10 14		
2419	焰	火	8 12		
2415	烽	火	7 11		
2388	灰	火	2 6		
2364	澀	水	14 17		
字號					
2775	眼	目	6 11		
2746	盃	皿	5 8		
2741	盃	皿	3 8		
2728	的	白	3 8		
2705	瘦	疒	10 15		
2659	疆	田	14 19		
2657	畢	田	6 11		
2649	留	田	5 10		
2648	畚	田	5 10		
2646	畝	田	5 10		
2571	琉	玉	6 10		
2539	猿	犬	10 13		
2526	狸	犬	7 10		
2468	爛	火	17 21		
2436	熙	火	10 14		
2419	焰	火	8 12		
2415	烽	火	7 11		
2388	灰	火	2 6		
2364	澀	水	14 17		
字號					
2775	眼	目	6 11		
2746	盃	皿	5 8		
2741	盃	皿	3 8		
2728	的	白	3 8		
2705	瘦	疒	10 15		
2659	疆	田	14 19		
2657	畢	田	6 11		
2649	留	田	5 10		
2648	畚	田	5 10		
2646	畝	田	5 10		
2571	琉	玉	6 10		
2539	猿	犬	10 13		
2526	狸	犬	7 10		
2468	爛	火	17 21		
2436	熙	火	10 14		
2419	焰	火	8 12		
2415	烽	火	7 11		
2388	灰	火	2 6		
2364	澀	水	14 17		
字號					
2775	眼	目	6 11		
2746	盃	皿	5 8		
2741	盃	皿	3 8		
2728	的	白	3 8		
2705	瘦	疒	10 15		
2659	疆	田	14 19		
2657	畢	田	6 11		
2649	留	田	5 10		
2648	畚	田	5 10		
2646	畝	田	5 10		
2571	琉	玉	6 10		
2539	猿	犬	10 13		
2526	狸	犬	7 10		
2468	爛	火	17 21		
2436	熙	火	10 14		
2419	焰	火	8 12		
2415	烽	火	7 11		
2388	灰	火	2 6		
2364	澀	水	14 17		
字號					
2775	眼	目	6 11		
2746	盃	皿	5 8		
2741	盃	皿	3 8		
2728	的	白	3 8		
2705	瘦	疒	10 15		
2659	疆	田	14 19		
2657	畢	田	6 11		
2649	留	田	5 10		
2648	畚	田	5 10		
2646	畝	田	5 10		
2571	琉	玉	6 10		
2539	猿	犬	10 13		
2526	狸	犬	7 10		
2468	爛	火	17 21		
2436	熙	火	10 14		
2419	焰	火	8 12		
2415	烽	火	7 11		
2388	灰	火	2 6		
2364	澀	水	14 17		
字號					
2775	眼	目	6 11		
2746	盃	皿	5 8		
2741	盃	皿	3 8		
2728	的	白	3 8		
2705	瘦	疒	10 15		
2659	疆	田	14 19		
2657	畢	田	6 11		
2649	留	田	5 10		
2648	畚	田	5 10		
2646	畝	田	5 10		
2571	琉	玉	6 10		
2539	猿	犬	10 13		
2526	狸	犬	7 10		
2468	爛	火	17 21		
2436	熙	火	10 14		
2419	焰	火	8 12		
2415	烽	火	7 11		
2388	灰	火	2 6		
2364	澀	水	14 17		
字號					
2775	眼	目	6 11		
2746	盃	皿	5 8		
2741	盃	皿	3 8		
2728	的	白	3 8		
2705	瘦	疒	10 15		
2659	疆	田	14 19		
2657	畢	田	6 11		
2649	留	田	5 10		
2648	畚	田	5 10		
2646	畝	田	5 10		
2571	琉	玉	6 10		
2539	猿	犬	10 13		
2526	狸	犬	7 10		
2468	爛	火	17 21		
2436	熙	火	10 14		
2419	焰	火	8 12		
2415	烽	火	7 11		
2388	灰	火	2 6		
2364	澀	水	14 17		
字號					
2775	眼	目	6 11		
2746	盃	皿	5 8		
2741	盃	皿	3 8		
2728	的	白	3 8		
2705	瘦	疒	10 15		
2659	疆	田	14 19		
2657	畢	田	6 11		
2649	留	田	5 10		
2648	畚	田	5 10		
2646	畝	田	5 10		
2571	琉	玉	6 10		
2539	猿	犬	10 13		
2526	狸	犬	7 10		
2468	爛	火	17 21		
2436	熙	火	10 14		
2419	焰	火	8 12		
2415	烽	火	7 11		
2388	灰	火	2 6		
2364	澀	水	14 17		
字號					
2775	眼	目	6 11		
2746	盃	皿	5 8		
2741	盃	皿	3 8		
2728	的	白	3 8		
2705	瘦	疒	10 15		
2659	疆	田	14 19		
2657	畢	田	6 11		
2649	留	田	5 10		
2648	畚	田	5 10		
2646	畝	田	5 10		
2571	琉	玉	6 10		
2539	猿	犬	10 13		
2526	狸	犬	7 10		
2468	爛	火	17 21		
2436	熙	火	10 14		
2419	焰	火	8 12		
2415	烽	火	7 11		
2388	灰	火	2 6		
2364	澀	水	14 17		
字號					
2775	眼	目	6 11		
2746	盃	皿	5 8		
2741	盃	皿	3 8		
2728	的	白	3 8		
2705	瘦	疒	10 15		
2659	疆	田	14 19		
2657	畢	田	6 11		
2649	留	田	5 10		
2648	畚	田	5 10		
2646	畝	田	5 10		
2571	琉	玉	6 10		
2539	猿	犬	10 13		
2526	狸	犬	7 10		
2468	爛	火	17 21		
2436	熙	火	10 14		
2419	焰	火	8 12		
2415	烽	火	7 11		
2388	灰	火	2 6		
2364	澀	水	14 17		
字號					
2775	眼	目	6 11		
2746	盃	皿	5 8		
2741	盃	皿	3 8		
2728	的	白	3 8		
2705	瘦	疒	10 15		
2659	疆	田	14 19		
2657	畢	田	6 11		
2649	留	田	5 10		
2648	畚	田	5 10		
2646	畝	田	5 10		
2571	琉	玉	6 10		
2539	猿	犬	10 13		
2526	狸	犬	7 10		
2468	爛	火	17 21		
2436	熙	火	10 14		
2419	焰	火	8 12		
2415	烽	火	7 11		
2388	灰	火	2 6		
2364	澀	水	14 17		
字號					
2775	眼	目	6 11		
2746	盃	皿	5 8		
2741	盃	皿	3 8		
2728	的	白	3 8		
2705	瘦	疒	10 15		
2659	疆	田	14 19		
2657	畢	田	6 11		
2649	留	田	5 10		
2648	畚	田	5 10		
2646	畝	田	5 10		
2571	琉	玉	6 10		
2539	猿	犬	10 13		
2526	狸	犬	7 10		
2468	爛	火	17 21		
2436	熙	火	10 14		
2419	焰	火	8 12		
2415	烽	火	7 11		
2388	灰	火	2 6		
2364	澀	水	14 17		
字號					
2775	眼	目	6 11		
2746	盃	皿	5 8		
2741	盃	皿	3 8		
2728	的	白	3 8		
2705	瘦	疒	10 15		
2659	疆	田	14 19		
2657	畢	田	6 11		
2649	留	田	5 10		
2648	畚	田	5 10		
2646	畝	田	5 10		
2571	琉	玉	6 10		
2539	猿	犬	10 13		
2526	狸	犬	7 10		
2468	爛	火	17 21		

3255	耀	羽	14	20	耀	
3252	翱	羽	11	17	翱	
3233	羶	羊	13	19	羶	
3213	罪	四	8	13	罪	
3194	縊	糸	14	20	縊	
3117	累	糸	5	11	累	糸 纒 累
3084	糲	米	14	20	糲	糲 別体
3077	糖	米	10	16	糖	糖 糖 別体
3072	糝	米	8	14	糝	
3070	粳	米	7	13	粳	粳 別体
3067	粥	米	6	12	粥	粥
3019	算	竹	8	14	算	
2993	竽	竹	3	9	竽	
2977	窮	穴	10	15	窮	
2926	秣	禾	5	10	秣	
2924	秋	禾	4	9	秋	
2901	粟	示	6	11	粟	
2871	磨	石	11	16	磨	
2790	翠	目	8	13	翠	
字號	字體	聲	韻	總	說	明
3627	蚊	虫	4	10	蚊	
3621	蠅	虫	4	10	蠅	
3602	蘊	艸	16	19	蘊	
3580	薛	艸	13	16	薛	
3544	蓋	艸	10	13	蓋	
3534	萱	艸	9	12	萱	蕙 別体
3516	菊	艸	8	11	菊	
3508	華	艸	8	11	華	
3469	荊	艸	6	9	荊	
3460	苔	艸	5	8	苔	
3383	臙	肉	14	18	臙	
3373	臙	肉	13	17	臙	
3366	膝	肉	11	15	膝	
3353	腥	肉	9	13	腥	
3315	胚	肉	5	9	胚	
3312	胛	肉	4	8	胛	
3306	肱	肉	4	8	肱	
3268	耜	耒	5	11	耜	
3267	耜	耒	4	10	耜	
字號	字體	聲	韻	總	說	明

3989	走	走	0	7		夬				字	號	3638	蛙	虫	6	12	吉	龍	用
3983	贛	貝	17	24	贛					字	號	3639	蝸	虫	6	12	蝸	蝸	
3972	賺	貝	10	17	賺					字	號	3640	蜂	虫	7	13	逢	蜂	
3944	貴	貝	5	12	貴					字	號	3657	蚘	虫	8	14	智	龍	
3925	貌	豸	7	14	兒	貌	兒			字	號	3661	蝶	虫	9	15	捷		
3904	豁	谷	10	17	豁					字	號	3688	蟻	虫	13	19	螳		
3856	詔	言	8	15	詔					字	號	3691	蝨	虫	13	19	蝨		
3848	誼	言	8	15	誼					字	號	3693	蠕	虫	14	20	蠕		
3856	詔	言	8	15	詔					字	號	3734	裙	衣	7	13	袞		
3796	訖	言	3	10	訖					字	號	3734	裙	衣	7	13	袞		
3706	訖	言	3	10	訖					字	號	3742	襪	衣	15	21	鞮	鞮	
4483	霍	雨	8	16	霍					字	號	4025	踏	足	8	15	蹋	蹋	
4471	雷	雨	5	13	雷					字	號	4027	蹄	足	9	16	踰	踰	
4469	零	雨	3	11	零					字	號	4048	蹠	足	13	20	蹠		
4466	雜	隹	10	18	雜					字	號	4057	躬	身	3	10	躬		
4456	雍	隹	5	13	雍					字	號	4064	軍	車	2	9	軍		
4454	隹	隹	4	12	隹					字	號	4073	較	車	6	13	較		
4417	陡	阜	7	10	陡					字	號	4086	輜	車	8	15	輜		
4412	陋	阜	6	9	陋					字	號	4086	輜	車	8	15	輜		
4343	麇	金	11	19	麇					字	號	4135	迤	辵	6	10	邁		
4302	鋤	金	7	15	鋤					字	號	4204	邢	邑	4	7	邢		
4254	隹	隹	4	12	隹					字	號	4302	鋤	金	7	15	鋤		
4204	邢	邑	4	7	邢					字	號	4343	慶	金	11	19	鑿		
4154	隹	隹	4	12	隹					字	號	4412	陋	阜	6	9	陋		
4135	迤	辵	6	10	邁					字	號	4417	陡	阜	7	10	陡		
4086	輜	車	8	15	輜					字	號	4454	隹	隹	4	12	隹		
4073	較	車	6	13	較					字	號	4456	雍	隹	5	13	雍		
4064	軍	車	2	9	軍					字	號	4466	雜	隹	10	18	雜		
4057	躬	身	3	10	躬					字	號	4469	零	雨	3	11	零		
4027	蹄	足	9	16	踰					字	號	4471	雷	雨	5	13	雷		
4025	踏	足	8	15	蹋					字	號	4483	霍	雨	8	16	霍		



## (C) 別体から選択したもの

字号	字標	字體	聲	韻	画	説	明											
1206	1165	1122	1121	0924	0890	0847	0669	0552	0530	0521	0511	10434	0400	0304	0234	0191	0055	0026
床	布	峰	峨	姪	妝	夠	嘆	咒	吻	呆	吃	升	勳	冗	傻	個	互	乃
广	巾	山	山	女	女	夕	口	口	口	口	口	十	力	冂	人	二	ノ	
4	2	7	7	6	4	8	11	5	4	4	3	2	10	2	8	4	1	
7	5	10	10	9	7	11	14	8	7	7	6	4	12	4	10	6	2	
或作牀。	或作佈。	或作峯。	或作峨。	或作姪。	或作粧。	或作够。	或作歎。	或作呪。	或作脣。	或作𡇗。	或作喫。	或作昇。	或作勳。	或作冗。	或作傻。	或作个 <small>箇</small> 。	或作迺。	
2660	2650	2467	2424	2391	2389	2294	2256	2182	2175	1925	1728	1686	1670	1605	1482	1449	1274	1262
畷	畧	爐	煙	災	灶	溼	湧	池	泛	梁	啟	據	撐	掛	夏	憑	彬	強
田	田	火	火	火	火	水	水	水	水	木	支	手	手	手	戈	心	彡	彡
17	6	16	9	3	3	10	9	5	5	7	7	13	12	8	12	8	8	8
22	11	20	13	7	7	13	12	8	8	11	11	16	15	11	16	11	11	11
或作畷。	或作畧。	或作爐。	或作烟。	或作災。	或作竈。	或作濕。	或作涌。	或作洿。	或作汎。	或作樑。	或作啓。	或作据。	或作撐。	或作挂。	或作夏。	或作凭。	或作斌。	或作彊。



字號	字體	聲	部	總	說	明
3528	莒	艸	9	12	或作莒。	
3520	著	艸	8	11	或作着。	
3482	荐	艸	6	9	或作薦。	
3475	茲	艸	6	9	或作茲。	
3404	舉	白	10	11	或作舉。	
3354	腳	肉	9	13	或作脚。	
3339	脣	肉	7	11	或作唇。	
3228	群	羊	7	13	或作羣。	
3206	殫	殳	12	18	或作殫。	
3204	鉢	缶	5	11	或作鉢。	
3034	筭	竹	10	16	或作筭。	
2976	窠	穴	10	15	或作窩。	
2938	稚	禾	8	13	或作穉。	
2912	禮	示	13	18	或作礼。	
2894	祕	示	5	10	或作秘。	
2869	磚	石	11	16	或作甃。	
2791	睹	目	8	13	或作覩。	
2695	痾	疒	8	13	或作癩。	
2662	疏	疒	6	11	或作疎。	
4463	雞	隹	10	18	或作鷄。	
4319	錘	金	9	17	或作鎚。	
4300	鋪	金	7	15	或作舖。	
4295	銜	金	6	14	或作啣。	
4263	針	金	2	10	或作鍼。	
4220	鄰	邑	12	15	或作隣。	
4170	逾	辵	9	13	或作踰。	
4168	遍	辵	9	13	或作徧。	
4067	輓	車	4	11	或作輓。	
4038	蹤	足	11	18	或作踪。	
4012	跡	足	6	13	或作迹。蹟。	
3982	贖	貝	15	24	或作贖。	
3912	豔	豆	21	28	或作艷。	
3804	訛	言	4	11	或作謔。	
3757	褲	衣	10	16	或作袴。	
3748	襖	衣	9	15	或作襖。	
3733	裡	衣	7	13	或作裏。	
3709	衛	行	9	15	或作衛。	
3550	蒞	艸	10	13	或作蒞。	



表の説明欄で、「個」の場合は“或作个，箇”と注を付している。これらの各についてみると、すべてが別体字というわけでもない。例えば、「峰」は“或作峯”として本字をあげているのである。表の注を文字の種類によって内訳をみると、次の通りとなる。

○本字一姪・淫・據・祕・禮・脣・脚・著・賈・鄰・鋪・雞・館・黏

○古字一助

○別体字一乃・互・儂・升・呆・吻・嘆・夠・妝・峨・布・床・強・彬・憑・

夏・啟・梁・泛・泄・災・煙・略・疏・睹・磚・窯・箭・罈・茲・

荐・芻・洩・豔・逾・銜・錘・韌・鯨

○俗字一冗・個・吃・咒・峰・掛・撐・湧・灶・壘・爐・痴・稚・鉢・群・

舉・衛・裡・褒・訛・跡・蹤・軟・遍・針・鰲・鱷・褲・鬥

以上の通り、八十三字中半数は別体字といえ、三分の一以上が俗字ということになる。ここにも、その意欲見るも、俗字中に他を用いてもよかったのではないか、という点もないわけでもない。わが国の場合は「個」を常用しているけれども、起源からいって「个」は小篆からあることでもあるし、この方がよかったのではないかとも思う。

なお、注記されていないものについて、その別体を示すことにする。



0974	0968	0946	0344	0910	0900	0891	0890	0841	0838	0830	0795	0783	0763	0758	0755	0748	0747	0737	字 體 澤	字 體 澤	聲 韻	韻 圖	總 圖	說 明
嫺	嫩	婀	婦	姍	妊	妒	妝	夔	壺	壟	堡	埠	坡	坏	坎	圻	圭	國	口	澤	韻	圖	圖	陰
1321	1303	1295	1293	1286	1283	1269	1263	1259	1188	1167	1166	1138	1137	1131	1129	1089	0978	0976	字 體 澤	字 體 澤	聲 韻	韻 圖	總 圖	說 明
忽	徨	得	徑	很	征	彙	弼	幕	希	帆	帆	蕪	嵩	崑	崖	屎	娘	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼
心	徨	得	徑	很	征	彙	弼	幕	希	帆	帆	蕪	嵩	崑	崖	屎	娘	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼
4	9	8	7	6	5	10	9	10	4	3	6	11	10	8	6	6	13	12	12	12	12	15	15	媼
8	12	11	10	9	8	13	12	13	7	6	6	14	13	11	9	9	16	15	15	15	15	15	15	媼

1694	1604	1569	1519	1473	1461	1459	1450	1438	1431	1429	1395	1394	1392	1384	1351	1350	1349	1331	字号 字 体
擎	掃	拳	扼	戎	憎	懦	鴟	感	憂	慚	愕	惺	愜	悸	恣	恤	恪	怕	字 體
13	8	6	4	2	14	14	12	11	11	11	9	9	9	8	6	6	6	5	聲
17	11	10	7	6	18	17	16	15	15	14	12	12	12	11	10	9	9	8	韻 圖
擎	掃	拳	扼	戎	憎	懦	鴟	感	憂	慚	愕	惺	愜	悸	恣	恤	恪	怕	說
17	11	10	7	6	18	17	16	15	15	14	12	12	12	11	10	9	9	8	明
2060	1982	1969	1952	1951	1943	1940	1907	1902	1898	1882	1843	1836	1793	1778	1774	1745	1742	1739	字号 字 体
款	楫	棲	榭	梅	榭	梓	柏	柵	東	松	替	曳	昭	旨	既	整	敵	敦	字 體
8	9	8	7	7	7	7	5	5	5	4	8	2	5	2	5	12	11	8	聲
12	13	12	11	11	11	11	9	9	9	8	12	6	9	6	9	16	15	12	韻 圖
款	楫	棲	榭	梅	榭	梓	柏	柵	東	松	替	曳	昭	旨	既	整	敵	敦	說
12	13	12	11	11	11	11	9	9	9	8	12	6	9	6	9	16	15	12	明

2623	2620	2619	2611	2602	2593	2571	2551	2415	2365	2281	2249	2222	2217	2179	2163	2119	2107	2082	字號 字標 字體 標準
甕	甕	瓷	壘	瑰	瑁	琉	獺	烽	濬	滂	淨	淚	浩	沱	泥	氛	毗	歿	字體 標準
瓦	瓦	瓦	玉	玉	玉	玉	犬	火	水	水	水	水	水	水	水	气	比	夕	字體 標準
13	6	6	14	10	9	6	16	7	14	10	8	8	7	5	5	4	5	4	字體 標準
18	11	11	18	14	13	10	19	11	17	13	11	11	10	8	8	8	9	8	字體 標準
罐	甀	瓷	壘	瓊	瑁	璠	犍	烽	濬	霽	淨	泪	浩	沱	泥	氛	毘	物	字號 字標 字體 標準
18	11	11	18	14	13	10	19	11	17	13	11	11	10	8	8	8	9	8	字體 標準
罐	甀	瓷	壘	瓊	瑁	璠	犍	烽	濬	霽	淨	泪	浩	沱	泥	氛	毘	物	字號 字標 字體 標準
2954	2933	2885	2862	2836	2824	2809	2805	2792	2752	2749	2741	2737	2735	2731	2718	2714	2644	2630	字號 字標 字體 標準
穗	稈	祀	確	砧	矩	瞰	瞬	睥	釜	盃	皿	炮	皚	皎	癩	癒	界	甦	字體 標準
禾	禾	示	石	石	矢	目	目	目	皿	皿	皿	皮	白	白	疒	疒	田	生	字體 標準
12	7	3	10	5	5	12	12	8	8	5	3	5	10	6	17	13	4	7	字體 標準
17	12	8	10	10	10	17	17	13	13	10	6	10	15	11	22	18	9	12	字體 標準
穉	秆	禩	碓	架	架	矚	矚	睥	醜	夂	丂	匚	泣	皎	癩	俞	畛	甦	字體 標準
17	12	8	10	10	10	17	17	13	13	10	6	10	15	11	22	18	9	12	字號 字標 字體 標準
穉	秆	禩	碓	架	架	矚	矚	睥	醜	夂	丂	匚	泣	皎	癩	俞	畛	甦	字體 標準
12	12	8	10	10	10	17	17	13	13	10	6	10	15	11	22	18	9	12	字號 字標 字體 標準
穉	秆	禩	碓	架	架	矚	矚	睥	醜	夂	丂	匚	泣	皎	癩	俞	畛	甦	字體 標準

333/	3328	3370	3265	3254	3220	3201	3191	3117	3087	3084	3077	3070	3017	3011	3010	3009	3005	2969	字號
胸	脬	肴	耕	翻	羈	缶	爾	累	糾	糯	糖	粳	筵	筏	竹筋	筍	筆	卮	字體
肉	肉	肉	耒	羽	网	缶	系	系	糸	米	米	米	竹	竹	竹	竹	竹	穴	聲
6	6	4	4	12	19	0	13	5	2	10	7	8	6	6	6	6	6	7	韻
10	10	8	10	18	24	6	19	11	8	16	13	14	12	12	12	12	12	12	韻
匈	臙	筭	畊	翻	羈	瓦	覓	糸線	札	糲	糲	稜	棧	棧	舫	笔	摠	說	明
3655	3652	3651	3648	3645	3639	3617	3600	3534	3572	3571	3488	3477	3408	3399	3380	3360	3346	字號	
蜥	蜿	蜃	蛾	蜈	蛔	虜	頻	萱	菰	菴	茄	舫	舐	白	膾	膀	脹	字體	
虫	虫	虫	虫	虫	虫	虍	艸	艸	舌	艸	艸	舟	舌	白	肉	肉	肉	聲	韻
8	8	7	7	7	6	11	16	9	8	8	6	4	4	4	8	10	8	韻	韻
14	14	13	13	13	12	17	19	12	11	11	9	10	10	10	12	14	12	韻	韻
蜥	蜿	蜃	蛾	蜈	蛔	虜	頻	萱	菰	菴	茄	舫	舐	白	膾	膀	脹	說	明
蜥	蜿	蜃	蛾	蜈	蛔	虜	頻	萱	菰	菴	茄	舫	舐	白	膾	膀	脹	說	明



4161	達	足	9	13						3694	屬	虫	15	21		字體	字號	明
4099	輿	車	10	17						3762	襪	衣	15	21		字體	字號	明
4094	輿	車	10	17						3772	視	見	5	12		字體	字號	明
4055	躡	足	20	27						3781	解	角	6	13		字體	字號	明
4044	蹴	足	12	19						3814	詆	言	5	12		字體	字號	明
4041	踏	足	11	18						3905	谿	谷	10	17		字體	字號	明
4039	蹠	足	11	18						3921	貂	豸	5	12		字體	字號	明
4025	踏	足	8	15						3925	貌	豸	7	14		字體	字號	明
4009	跋	足	5	12						4009	跋	足	5	12		字體	字號	明
4018	返	足	4	8						4025	踏	足	8	15		字體	字號	明
4595	餉	食	6	14						4039	蹠	足	11	18		字體	字號	明
4584	飪	食	4	12						4041	踏	足	11	18		字體	字號	明
4628	駝	馬	5	15						4044	蹴	足	12	19		字體	字號	明
4324	酉	酉	6	13						4055	躡	足	20	27		字體	字號	明
4240	醇	酉	8	15						4063	軌	車	2	9		字體	字號	明
4258	野	里	4	11						4094	輿	車	10	17		字體	字號	明
4326	釵	金	9	17						4099	輿	車	10	17		字體	字號	明
4331	鎖	金	10	18						4118	返	足	4	8		字體	字號	明
4337	鑑	金	14	22						4595	餉	食	6	14		字體	字號	明
4361	鑣	金	15	23						4584	飪	食	4	12		字體	字號	明
4362	鑠	金	15	23						4579	飄	風	11	20		字體	字號	明
4403	防	阜	4	7						4534	韻	音	10	19		字體	字號	明
4418	陞	阜	7	10						4528	韜	韋	10	19		字體	字號	明
4431	階	阜	9	12						4517	鞘	革	7	16		字體	字號	明
4451	隹	隹	4	12						4451	隹	隹	4	12		字體	字號	明
4517	鞘	革	7	16						4418	陞	阜	7	10		字體	字號	明
4528	韜	韋	10	19						4431	階	阜	9	12		字體	字號	明
4534	韻	音	10	19						4451	隹	隹	4	12		字體	字號	明
4579	飄	風	11	20						4517	鞘	革	7	16		字體	字號	明
4584	飪	食	4	12						4528	韜	韋	10	19		字體	字號	明
4595	餉	食	6	14						4534	韻	音	10	19		字體	字號	明
4628	駝	馬	5	15						4579	飄	風	11	20		字體	字號	明
										4584	飪	食	4	12		字體	字號	明
										4595	餉	食	6	14		字體	字號	明

字号	字體	聲	韻	總畫	說	明
4669	長毛	彭	4	14	鬃	鬃
4699	鯊魚	魚	7	18	鮞	鮞
4721	鴉鳥	鳥	4	15	鴉	鴉
4729	鴻鳥	鳥	6	17	堆	鴉
4730	鴿鳥	鳥	6	17	鴿	鴿
4733	鴉鳥	鳥	7	18	鴉	鴉
4739	鴉鳥	鳥	10	21	鴉	鴉
4762	麩麥	麥	8	19	麩	麩

## 二 書写上の問題点

「常用国字標準字体表(訂正本)」は、正楷字体としている。よって、活字ではなく、書写による報告である。俗字も意欲的に採用して簡略を旨とし、国民常用字たらしとする姿勢が明らかである。書写についてもそれに関連して、十分に配慮がなされている。そこで、顕著な例となお、数点についての疑念とをあわせてひろい出してみる。

「亅」に類するものに目をやると、「文」「方」「玄」「言」「辛」「音」「高」「齊」部等、全て点と横画が接している。また「衣」は前者と同様であるが、「衫」「初」「袖」等、偏になる場合には、点は独立している。ところで「亡」は、現行の国民小学国語教科書に依ると、「亡」(第8冊4年下)は点と横画は接していない。

「言偏」は点が接しない。また「麼」は点が独立していることに加えて、「麻」となっている。ところが「字体表」では、「麻」と旧来通りになっている。そこで、「術」・「述」など「ホ」とならない。これはせっかく「麻」としてあるのだから、書写の自然さからいっても、現行教科書通りでいいのではなからうか。

混同しやすいものを区別した例は、充分配慮されている。それを次にあげると、

月一月 肉一月 艸一卩 冫一卩 日一日 日一日 冒一冫等  
である。

わが国の場合、肉部を月部と区別しにくいいため、胸・腰・腸等の、身体に関する字を月(ツキヘン)という学生が多い。それに比し、肉部を「月」と明らかにしているのは好ましい判断であるといえよう。また、現行の国民小学教科書で艸冠を「卩」としているものを「卩」に改め、「夢」「獲」などと区別している。

こうしてみると、字源に関係なく、習字が容易になされるように、統一性もっている点に気付く。

「市」の“開く”という意味を共通する、「蒂・肺・沛」は、前述の通り「亅」となるのは理解できる。しかし、始画の点と終画の直線とを、一直線上にする

というのは、無理があろう。もし、点と直線が別であると、「うわずみ」の意味をもつ「柿」字の「市」になるという。書写において、このような厳密さが期せるかどうか、疑問を持たざるをえない。

「尊・曾・兼・兪・養」などの、直線が頭を出ないものについては、従来の「八」を「ㄩ」としたのは、書写体の自然を得たことになる。今、「曾」字の隸書を見ると、魏王基残碑・婁寿碑ともに「八」となっている。これが楷書になると、誌公禪師碑にみられるように「ㄩ」となる。

また、今回は「兪」の「ㄩ」を「リ」として、「兪」とした点はよい。「論・輸・論・逾・瑜・榆」等、運筆が自然である。「ㄩ」は書写の面から見ると、非常に書きにくいものである。「邕」の「川」の意を表わす「ㄩ」は「ㄩ」で充分ではなからうか。「巢」の「ㄩ」は「す（栖）」を表わすとしても、「ㄩ」でいいのではなかったか。一様に、「頭髮」を意味する「腦」の「ㄩ」を「ㄩ」としてみるのも、可能である。楷書の方形と運筆から考えると、直線の集合体を基本としている。そこへ、小さな運動の曲線を維持しようとしても、さして効果はない。実際のところ、点になってしまうことになるのであるから、「ㄩ」に拘泥することではなからう。同傾向のものに「經」の「𠄎」の部分である。隸書では「𠄎」も出ていることでもあり、一考を要してもよかつたろう。「逕・徑・涇」などそれである。

「不」字の三画目の直線は不鉤という。二画目「ノ」線上を通ることによって、「不」となるのが自然である。もし、指定通りであると、一ノ、という筆順でなければ、字形の態を失うことになる。日常の文字活動による能率という面からみても、「不」であって欲しかった。

「致」は「右從攴，不從支（攴）」という。このような条件は、困難を極める。隸書では「支」のように「十」が基本であるのに、楷書になると「支・攴・攴」であって、字形の美麗を失う「攴」なるものは、見当らない。

「雨」は、「中皆作𠄎。」すなわち、中の四点を「𠄎」と作らなければならないという。これこそ、字源の「𠄎」である雨の降るさまを念頭におけば、無理といえよう。それはともかくとしても、左側から上下に、かわって右側を上下に点を打つのが、自然な筆意である。𠄎形にするのは、空中での運筆気脈が不自

然で、無駄な動きをしなければならないことになる。

今日の筆記用具は、万年筆であり、ボールペンであり、鉛筆であるように先端の硬いものを用いる。当然、毛筆より力を入れて書写しなければならない。このように考えてみると、より自然で合理的な用筆画にしていくべきであろう。

## おわりに

漢字の歴史の中で、前代の公用文字から大きく変貌した書体という、隷書である。『漢書』芸文志に「是時、始造隷書矣、起於官獄多事、苟趨省易、施之於徒隸也。」という。文字が一人によって為されるはずもなく、実は、戦国期に各地で筆記されていたことは、近年出土する木簡類<sup>(2)</sup>で判明するところである。

ところで、天下を統一した秦始皇帝が文字統一を行なったのは、各地の字体の差異を統一するというだけではなかった。真意は、支配者の文字として復活させることであつたということになる。かくなる政治的意図があるとすれば、文字は今日的理解の国家と国民によるものというには、あまりにも遠いものであつた。言うならば、始皇帝は天下人の己一個人のための文字としたのであつた。それ故に、文字が歩んできた逆方向に進行する小篆（秦篆）にしたのである。秦の国は周の本拠地であつて、文字の点からいえば、由緒ある地域であつたから、その伝統のもとで大きく変化することのない字体であつた。それに比し、他の地域ではその拘束がなく、自由に文字使用がなされていたといえよう。遙かに南方湖南の楚に例をとってみれば、中原黄河文化から規制されることなく、大きく文字の変化をなしていた。

秦が始皇帝の意に反して短命に終つた後、漢が突如として、隷書を公用文字に出来たのはなにゆえであろうか。それは言うまでもなく、公用通行文字に出来る程に隷書が一般的であつたことを、立証するものであろう。後漢の初期に『説文解字』が著わされたということは、もはやこの時代になると、篆書が識字として、容易ならざるものになっていたことを裏書するものである。

漢帝国は晴ればれとして繁栄していた。中央集権が一段と進み強力になり、戦乱を忘れさせる静かな、ただ華やかさのみがある世であつた。文学の面を見て

も、漢賦が盛んにうたわれていた。文学者達は修辞技巧に余念がなく、語句を尊ぶあまり、後世では字書の役割を果した<sup>(3)</sup>程であった。

大篆・小篆という公用文字であったものと比較してみる隷書は、用筆・結構があまりにも異なっている。漢の成立からにしても、前206年頃にはこのように簡略された文字を使用していたことになる。文字の歴史がここまで来ていた点を、重視しなければならない。

今、「常用国字標準字体表（訂正本）」をもって、標準字体を制定しようとする時、漢の歴史的事実を、凝視する必要がある。たしかに「経」では、その本義は不明になってしまうのではあろうが、国民の常用字はなにをおいても、実用実務を第一としなければならない。ある限られた者のみの文字ではなく、全市民の文字ということになれば、それが特殊技能によるものであってはならない。教育水準の高い台湾省という地域の改訂であったわけで、篆文に依ることが多かった。いきおい、俗字を採るに問題があるならば、全体の基本を隷書におくべきであったと思う。結構と用筆が、以前の文字と大きく異なる隷書こそ、文字簡体に多くのものを示唆してくれる。

それにしても、標準字体に多くの俗字を採用して、総体的にその前進ぶりは画期的であり、拍手を呈す。この意欲に敬服し、願わくば、今後なお作業を継続されんことを念願する。

#### 〔参考文献〕

- 教育部「常用国字標準字体表（訂正本）」1979年  
 国立編訳館主編『国民小学国語』第1冊～第12冊  
 陸師成主編『辞彙』文化図書公司1980年  
 高樹藩編『正中形音義綜合大字典』正中書局1980年  
 藤原楚水編『六体大字典』三省堂1974年  
 小川環樹他編『新字源』角川書店1969年  
 藤堂明保編『漢和大字典』学習研究社1980年  
 何容主編『国語日報辞典』国語日報社1981年  
 加藤常賢『漢字の起原』角川書店1970年  
 藤堂明保『漢字語源辞典』学燈社1967年

〔註〕

- (1) 黄得時「歴代字書与常用字数」『書和人』第 173 期国語日報社
- (2) 『馬王堆漢墓帛書(一)』文物出版社
- (3) 福島吉彦「叙事の賦」中国文化叢書 5 『文化史』56 頁, 大修館書店